

生産性向上 & 働き方改革

～受注が1.5倍になっても人手を増やさずやりきれた！
その方法とは～

株式会社BAISOKU

©BAISOKU Corporation All rights reserved

V01.03

中小企業を取り巻く課題

働き方改革

残業はダメ！

人材不足

採用難

コストの上昇

最低賃金・保険料他



労働時間短縮 でも 売上確保

人材流動活性化 でも 会社維持

賃金アップ でも 利益確保

政府も中小企業のIT化を推進

「Be a Great Small. 中小機構」のウェブサイトスクリーンショット。メインビジュアルには、工場内を歩く作業員の写真と「IT活用で生産性を向上させよう!」という大きな文字が配置されている。下部には、2つの動画サムネイルが並んでいる。左側のサムネイルは「01 POSレジアプリ編」で、右側のサムネイルは「02 勤怠管理アプリ編」である。また、下部には「生産性とは？なぜIT活用？」と「今日、部下が会社を辞める。」という2つの小さなボタンがある。

Be a Great Small.
中小機構

01 POSレジアプリ編

02 勤怠管理アプリ編

生産性とは？
なぜIT活用？

今日、
部下が
会社を辞める。



そうは言っても、ウチには難しい話だな…。

業務が特殊で
システム化はムリ

ITがわかる社員が
いないし使えない

システムを入れる予
算がない

そんなことはありません！

実際にITシステム化にとりくまれた当社顧客の
製造業様の**実績**をご紹介します

きっかけ・ITシステム化 以前の課題

- 管理用のAccessをつかった担当者が退職した時に
引き継げなかった
- しかたなくExcelで代用したが、ファイルの共有ができず、
個人個人が仕事を抱えることになった
- 市販のソフトを導入したが、自社の業務に合わないことが判明
- 数社にシステムの見積をとったら、
3～5千万円の開発費、しかも1年以上かかると言われた

これらを解決するには・・・



きっかけ・ITシステム化 以前の課題

自社のやり方に合うシステム

誰でも使えるシステム

予算にあうシステム



が必要だ！

BAISOKU流 ITシステムができるまで

- 週 1 回程度ヒアリングして、ITシステム化する範囲を洗い出し

- 今使っているエクセルや、手書きの帳簿などをお預かりして、業務の流れを図式化 & 見える化

- 試作版を作成。実際にシステムを使ってもらいながら、業務に問題ないか確認

- 適宜打合せ & 微調整を繰り返しながら仕上げていく

(開発期間正味 3 カ月)

- 本番稼働後も、業務の変化や進化に合わせて微調整をし続ける

●ミーティングの様子



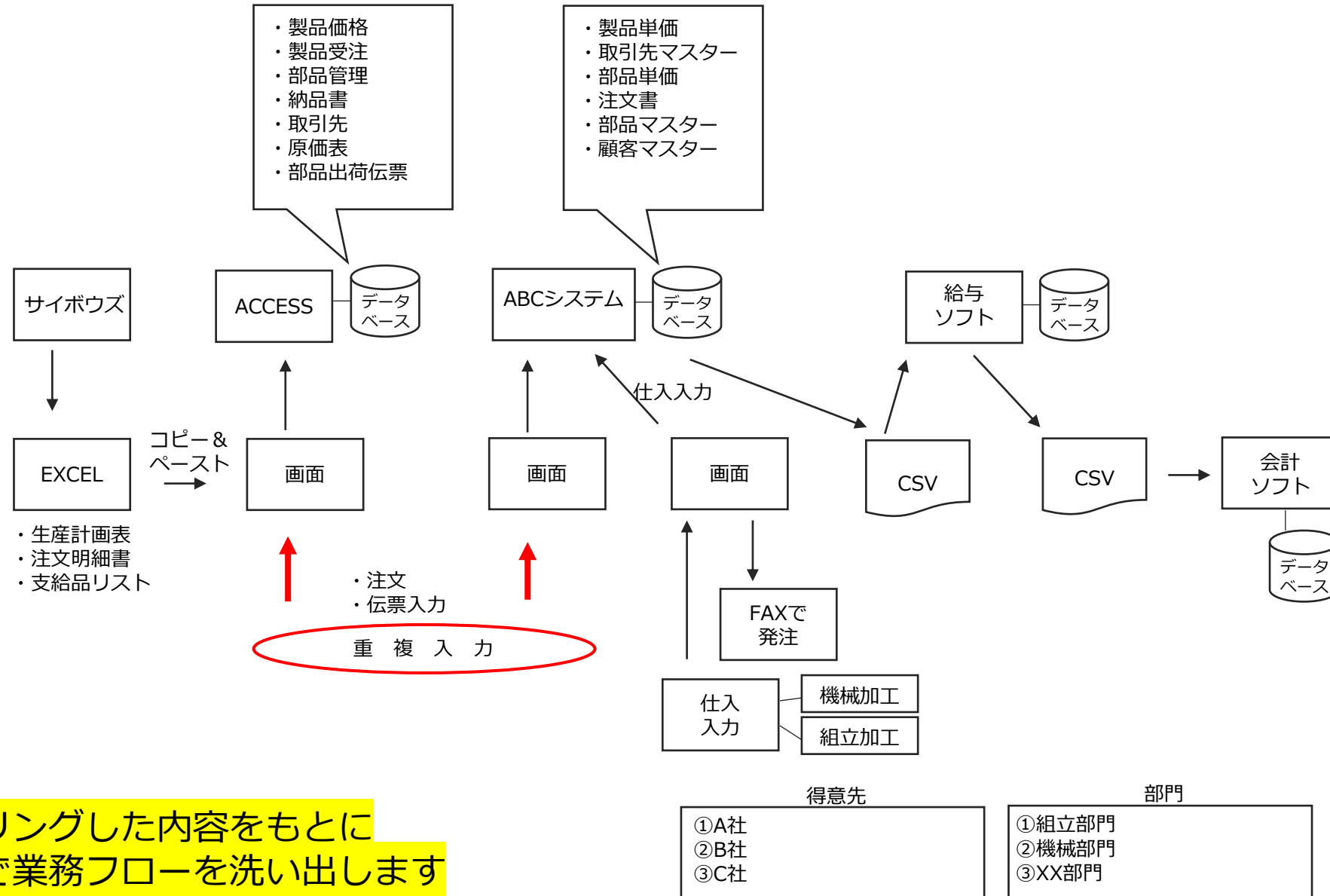
試作版をみていただきながら、
微調整を繰り返します



今、使っているエクセルやアクセス、帳票や帳簿などを
拝見して業務内容をヒアリング

第一回ヒアリングによる業務フロー(例)

第一回 2021/MM/DD



ヒアリングした内容をもとに
当社で業務フローを洗い出します

実際にやってみた効果



具体的な効果例（1）

Before（あれどうなった？）



- 電話やFAXの問合せに忙殺
- 製品単価・原価の把握はアバウト
- 棚卸するまで在庫数がわからない
- あのエクセル変更したの誰だ？
- 月締めの確認作業がたいへん！
- 数字が合わない！
- エクセルの山に時間を奪われる！

事務処理激減

※お客様実施アンケート結果より

After（システムを見ればわかる）

- 電話 & FAXのやりとりが激減
- 数字の把握が正確になった
- 在庫管理もほぼリアルに、適正発注数も把握しやすくなった
- 最終更新者と日時が明確になった
- 発注残のリスト化で楽々確認
- エクセル自体を使わなくなった



作業に追われることがなくなった。休暇がとれるようになった。

具体的な効果例（2）

Before

- ① 受注情報は紙やFAXで配布
変更の度に周知徹底がたいへん
- ② 発注作業は担当者が各々個別に
発注するため、月末に請求書が
締まるまでその月の仕入高が不明
- ③ 部署ごとに、ダブって発注する
ことも・・・。



受発注効率化

After

- ITシステム上に公開。リアルタイム
で情報を共有できるように
- 発注はITシステムから、に統一。
仕入もシステムに入力することで
日次決算が可能に。
- 発注量の見える化で
発注忘れを防止。適正発注が
できるようになった



受発注作業にかかわるムダ・ムリ・ムラを排除

具体的な効果例 (3)

Before

- ④仕入先様・配送業者などに生産計画表や出荷報告をFAXや紙で配布していた
- ⑤とくに出荷報告は配送業者に機体チェックシートを配布し、記入してもらい、再度入力するという煩雑な作業が生じていた
- ⑥上記作業の専任の担当者が休めなかった



情報共有簡単

After

- システム上に、関係業者様が閲覧できるページを用意IDを配布して、リアルタイムで情報を共有できるように
- 機体チェックシートの発行も自動化し、誰でもできるように
- 「いつ」「誰が」「どの機体を」の管理が簡単にできるようになった



仕入先様・配送業者もまきこんだサプライチェーンマネジメントを実現

具体的な効果例（4）

Before

- ⑦月の受注数に波があり、**適正在庫数の把握が困難**
- ⑧常に余裕のある発注をするため**過剰在庫**を抱えてしまう
- ⑨発注担当者しか**納品予定日**が**わからない**（現場はそのつど確認）



在庫の適正化

After

- 部品点数が多いため、**全製品をBOM（部品表）化**
- 生産計画に対し、3カ月先まで各部品の月ごとの**必要数を把握**することが可能に
- システム上に納品予定日がすぐに反映されるため、**現場からの確認作業もスムーズに**



余剰在庫が減る＝工場経営の流動的な資金が増え、設備投資が可能に

自社に合ったITシステムで実現したこと

生産性向上

見える化

「いつ・誰が・誰に・何を・
いくつ・いくらで・どのように・
なぜ (6W2H)」
をリアルタイムで共有

在庫管理

在庫の削減
適正在庫化

業務効率改善

自社にあった
ITシステム開発

情報共有

関係会社もつないだ
リアルタイム情報共有

働き方改革
(制度)対応

残業管理、就業時間管理
有給休暇管理、等

その結果として・・・

24ヶ月の生産数推移

【管理図／生産指示書／品目G／数量】

2017年4月～2019年3月（24ヵ月）（単位:台数） □印刷用

品目G	17年 4月	17年 5月	17年 6月	17年 7月	17年 8月	17年 9月	17年 10月	17年 11月	17年 12月	18年 1月	18年 2月	18年 3月	18年 4月	18年 5月	18年 6月	18年 7月	18年 8月	18年 9月	18年 10月	18年 11月	18年 12月	19年 1月	19年 2月	19年 3月	合計	比率	平均	標準 偏差	LCL	UCL
【合計】	1,583	1,714	2,045	1,912	2,097	2,091	1,923	2,080	2,160	2,388	2,323	2,314	2,387	2,237	2,401	2,382	2,440	2,567	2,319	2,466	2,069	2,370	2,510	2,529	53,307	100.0%	2,221	258	1,891	2,551
	1,077	1,242	1,178	1,184	1,299	1,306	1,213	1,235	1,381	1,577	1,527	1,527	1,527	1,527	1,527	1,453	1,469	1,262	1,492	1,617	1,619				34,060	63.9%	1,419	171	1,200	1,638
	332	279	368	414	364	402	371	383	362	432	432	432	432	432	432	478	449	498	483	468				10,017	18.8%	417	58	343	492	
	85	95	98	117	132	126	154	150	146	146	146	146	146	146	146	170	148	143	152					3,165	5.9%	132	25	100	164	
その他	89	98	401	197	302	257	185	312	271	271	271	271	271	271	271	271	271	271	188	232	267	290			6,065	11.4%	72	161	345	345

【【合計】】



**受注(生産)が1.5倍になっても
仕事を断ることなくやりきれた！
(お客様の声より)**



その結果・・・

「IT投資は回収できた！」

まとめると・・・

- 自社に合ったITシステムをつくる
「試作」をベースに、1社1社の業務内容に合わせてフルカスタマイズ
何度でも修正できるから**自社に本当にあったシステム**が仕上がります
- ITシステム費用は**ひとり分の人件費より安い**時代です
クラウドの仕組みや、開発技術の進化、長年のノウハウにより、
初期投資をおさえて会社全体の戦力となるシステムを制作します
- 納品して終わり、ではなく、半永久的に運用保守で経営に伴走します。
使いながら溜まった実際のデータを分析して利益アップポイントをご提案します。

繰り返しますが、

自社のやり方に合う

予算に合う

誰でも使える

ITシステム

があれば...

実現
可能

労働時間短縮しても売上確保

人材流動活性化しても会社維持

賃金アップしても利益確保



ITシステムの力をうまく活用し、

生産性向上 & **利益アップ** に

お役立てください

貴社の強みを
"圧倒的強み"に変える
「デジタルシフト」を
ご支援します！

株式会社 **BAISOKU**

お問合せ等ございましたら、お気軽にご連絡ください。

株式会社 BAISOKU (バイソク)

〒176-0023 東京都練馬区中村北2-20-11 ソフィア中村橋2F

TEL : **03-6907-3904**

<https://baisoku.co.jp> E-mail : info@baisoku.co.jp

